

指定管理者による公の施設の管理運営状況(令和元年度分)

施設名	群馬県青少年会館	所管課	教育委員会生涯学習課
指定管理者名	公益財団法人 群馬県青少年育成事業団	指定期間	3年
利用料金制	<input type="checkbox"/> 導入 <input checked="" type="checkbox"/> 一部導入 <input type="checkbox"/> なし		H29.4.1 ~ R2.3.31

※利用料金制とは施設の利用に係る料金を指定管理者の収入として収受させる制度。「一部導入」は利用料金制を導入しているが指定管理料を支出している施設

1 施設の概要

施設所在地	前橋市荒牧町2番地12
指定管理業務内容	・群馬県青少年会館の管理及び運営 ・青少年健全育成事業の実施

2 職員の状況(平成31年4月現在)※主に指定管理業務に従事する職員数

通常(フルタイム)の職員:	11人		
短時間雇用の職員:	0人	合計:	11人

3 収支の状況(令和元年度決算額)

収 入		支 出	
指定管理料	67,112,990	人件費	57,562,450
利用料収入	10,558,000	委託料	4,245,701
事業参加者負担金収入	256,900	光熱水費	7,601,882
自主事業収入	2,493,594	租税公課費	4,871,867
		その他(管理運営費等)	5,860,342
		自主事業支出	2,493,594
収入合計	80,421,484	支出合計	82,635,836

※指定管理者の指定管理業務等及び自主事業に係る収支を記入(指定管理者団体全体の収支ではない。)

4 利用の状況

	令和元年度(実績)	(参考)平成30年度(実績)	(参考)平成29年度(実績)
①年間利用者数(人)	42,419	48,053	46,401
②使用料収入(円) (県納付額)	-	-	-
③利用料収入(円) (指定管理者収受額)	10,558,000	11,502,250	11,814,835

5 施設における実施事業の状況

事業・イベント名	開催日	参加者数	内容	参加者の感想等
青少年指導者専門講座	2月8日 9日	延べ61名 (募集定員各日 25名)	・地域における青少年活動の活性化を図るため、地域の青少年活動や青少年団体活動に情熱を持ち、今後の活動が期待される者に対し、専門的な知識・技能等を習得するための専門講座を実施し、地域活動指導者の資質の向上に寄与する。 【主な内容】 「子どものココロに寄り添うコミュニケーションワークショップ」 「子どもも大人も夢がふくらむ遊びワークショップ」	・遊びの紹介だけでなく進行のさせ方、声かけの方法、盛り上げるコツなど勉強になった。 ・2日間とも雰囲気がとてもよく、様々な職種の方とふれあい話ができるようになりよかった。 ・今回の内容は子どもに限らず、人と関わる際にとっても大切になる内容で、自分を大切にすることなども学べてよかった。

リーダー指導者研修会	2月23日	5名 (募集定員10名)	・子どもたちの笑顔のために活動する団体・サークルの指導者に対し、よりスキルアップするための講座を実施し、青少年団体活動の活性化・団体の結束力の向上に寄与する。 【主な内容】 『団体・チームの魅力を最大限引き出す方法』『やりたい事を共感し合えるチームづくり』『来てほしい人が来る仲間づくりの仕掛け』を柱とした協議	・他の参加者がどのように自分の団体をどの程度把握しているのかがわかってよかった。 ・リーダーは信頼が大事だと思った。今後、他の人の話をよく聞いていこうと思う。 ・リーダーとしての心構えは常に意識する必要があると思った。
市町村青少年教育担当者研修会	6月26日	50名 (募集定員30名)	社会教育に従事する公民館や社会教育施設の職員、青少年団体の指導員、教員等の資質向上を目指し、青少年を取り巻く喫緊の課題等の講義や演習を行い、青少年教育の現場で役立つスキル向上に寄与する。 【主な内容】 「インパクトのある広報誌・チラシづくり」	・基礎が分かってよかった。明日から生かせる内容だった。 ・グリッド線の活用や余白の使い方、文字の方向など、今まで知らなかった知識を得ることができた。 ・いくつかの例をもとにして具体的な改善点やヒントを与えてもらえるところがよかった。
ボランティア体験講習会	体験 5月25日 振り返り 10月12日	体験17名 (募集定員15名)	地域社会における青少年を対象としたボランティア活動を推進するため、県内の大学生、短大生及び専門学校生に対し、ボランティア活動に必要とされる知識や技能を習得させた上で、地域でのボランティア活動を体験しながら、学生によるボランティア活動の推進を図る機会を提供する。 【主な内容】 実習 仲間づくりのレクリエーション 野外アクティビティ 講義 危険予知トレーニング	・男子一人の参加で緊張したが、有意義な時間を過ごせた。 ・すべてのコマが自分のためになったと思う。 ・これからのボランティア活動に活用していきたい。 ・野外活動での危険回避の方法を、キャンプボランティアに生かしたい。
中学生・高校生交流ボランティア体験	8月24日 8月25日	28名 (募集定員20名)	県内の中学生・高校生に対し、地域活動との交流を通してボランティア活動の機会を提供する。また、ボランティアに対する意識啓発を行うことにより、継続した活動を推進する。 【主な内容】 『コミュニケーションゲーム(交流活動)』『地域イベントの魅力(講義)』『ホリデーインまえばしでの『体験活動』『振り返り活動(グループ協議)』	子どもの目線になって話すことが大事だと感じた。笑顔でハキハキ話すと子どもが喜んでくれて嬉しかった。 ・校内で掲示されている広告を見て応募した。夏休みのよい思い出になった。 ・夏休みにボランティアをしたくてインターネットで探したところ、この活動を知り申し込んだ。
体験活動・ボランティア活動支援センター	通年	相談件数14件 ボランティア参加人数8名	・青少年及び指導者のボランティア活動に関する情報収集と提供を行う。 ・ボランティア活動を希望する青少年及び指導者とそれを必要とする地域や団体・学校のコーディネートを行う。	【依頼者の感想】 ・子ども達が喜ぶプログラムを提供していただき、感謝している。指導者のコミュニケーション力が高く、子どもへの関わり方が素晴らしい。 ・以前ご紹介いただいた指導者に毎回レクリエーションプログラムをお願いしている。子ども達もこのプログラムを毎年楽しみにしている。 【ボランティアの感想】 ・子ども会役員(依頼者)や参加した子ども達が協力的で、レクリエーションの指導がしやすかった。
ふれあい・ゆうあい交流フェスタ	実行委員会 6月12日 8月21日 9月25日 10月30日	台風19号接近のためフェスタは中止	・心のバリアフリーと温かな社会の実現を目指し、関係者がともにふれあい、活動する楽しさを体験すると共にボランティア活動を実践する。 【主な内容】 ・参加団体によるステージ発表やパネル展示 ・中学生以上のボランティアによる介助や体験コーナー・バザー・模擬店等	
親子ふれあい会館ロッジ	I 7月20日 ~21日 II 10月26日 ~27日	I 35名 (募集定員15組30名) II 28名 (募集定員15組30名)	青少年会館に宿泊し、時間をかけた共同・協力作業を行うことにより、親子のふれあいや参加者同士の交流を深め、新たな人間関係の構築を図る。 【主な内容】 ・木工教室(I) ・竹細工、陶芸教室(II) ・IとII共通でレクリエーション	・子どもと協働作業で作品をつくる作業は楽しく、子どもの成長を感じられて充実した2日間だった。 ・日々子ども一人ひとりと長時間向き合うことが難しいが、2日間で色々な会話が出来た。 ・最初は緊張したがレクリエーションから仲良くなれて本当に楽しそうだった。

国際交流推進事業	11月30日 ～12月1日	19名 (募集定員20名)	国際交流を推進するために、小学生が外国の文化に触れたり、海外留学生に対して日本文化に触れる機会を提供して交流を行う。 【主な内容】 ・ヨーロッパの文化に親しむ ・アジアの文化に親しむ	・学校ではやらない英語を先に学べてよかった。 ・ヨーロッパのクリスマスで食べるクッキー作りと食べるのが楽しかった。 ・色々な国の人としゃべれて、友達とも仲良くなれてよかった。
青少年団体活動支援事業	通年		青少年会館を拠点として活動する群育連協加盟団体の充実を図るため、担当職員を配置して支援・連携を図るとともに、加盟団体のメンバーを当事業団主催事業の講師や補助指導者として積極的に活用する。 【活動内容】 ・群育連協事業運営委員会の出席 ・ボーイスカウト主催事業への係員協力 ・群馬青友会活動展の会場提供 ・県子育て連上毛カルタ大会係員協力	・職員の助言により青少年会館を有効に使うことができた。(団体関係者) ・会場の底務を担当してもらったので、事業の作業効率がアップした(団体関係者)
	8月4日 (夏休み宿題お助け隊) 1月13日 (親子餅つき体験)	宿題お助け隊 小学生74名 (募集定員50名程度) 親子もちつき体験 親子37名 (募集定員親子25組)	青少年の健全育成活動を行っている団体と協力し、体験活動を通して子ども達の創造力や社会性を育むとともに、親子での協働作業や共通体験により、親子の「きずな」を深める。 【主な活動】 ・青少年団体、関係団体との連携強化を図る。 ・団体と連携して子どもの夏休みの宿題を支援することで、子どもの社会性を育てる。 ・親子一緒にもちつき体験を通して、親子の絆を深める。	○夏休み宿題お助け隊 ・大学生がやさしく教えてくれたので楽しかったです。(子ども) ・読書感想文のアドバイスをもらって上手に書けたと思います。(子ども) ・親だと素直に聞かないことがあるけど、お兄さんお姉さんと素直に頭に入るようです。(保護者) ○親子餅つき体験 ・餅をつく前の米もおいしかったです。(子ども) ・自分が保育園児以来の餅つきで我が子と体験できてよかったです。(保護者) ・ボランティア団体として活動に参加できてよかったです。(ボーイスカウト団員)
青少年関係情報提供システム「ぐんま青少年ねっと」	通年	学習情報コーナー 延べ180名	・インターネット等を活用して青少年育成に関する情報収集を行い、学校、青少年団体指導者及びボランティアに関心のある青少年向け情報発信をする。 ・来館者にインターネット環境を提供し、青少年育成に関する情報収集の推進を図る。 【主な内容】 ・ウェブページのリニューアル・日常管理 ・学習情報コーナーの管理 ・facebookページによる情報発信 ・当館ブログによる情報発信	・当館ホームページの閲覧による施設利用および主催事業の問合せが多い。また、施設案内や事業内容などを明確に伝えているため、対象者にとって有益な情報として活用されている。 ・フェイスブックの活用は、特に青年層に向けた情報において効果的である。 ・ブログの記載内容は、facebookページにリンクを貼っているため、より多くの方に情報を発信している。 ・学校の長期休業時期は、学習情報コーナーの利用者(中学生・高校生など)が多い。
(参考)自主事業	青年地域活動支援事業	おやこで茶道教室12/1 ボランティアのつどい3/7		19名 コロナウイルス流行の影響中止
	青少年会館友の会育成事業	友の会の活動 2回 ゆめすくーるユニット 6回		延べ18名(ボランティア) 延べ955名(児童)、169名(ボランティア)
	青少年ふれあい居場所づくり事業	1階交流スペース 通年 学習室開放7/20～8/31、12/21～1/8		延べ618名 延べ133名
	夏休みキッズスクール	8月6日～9日		延べ112名(募集定員各日30名)
	社会人研修会	8月20日		23名(募集定員20名)
	高校生のための写真講座	9月7日～8日		45名(募集定員40名)
	会館利用者のためのプログラム提供	ひのきのお箸づくり10/24、11/19 押し花のしおりづくり8/11		3団体33名
	地域連携協力事業	施設見学、職場体験 大学生の社会教育学習 ライオンズクエスト		延べ59名
	ユースまち探検プロジェクト	通年 (事業期間：平成30年度～令和2年度の3カ年間)		渋川会場60名、高山村会場32名、上野村会場21名

6 利用者満足度調査等の結果及び対応状況

利用者満足度調査については、①施設利用、②青少年健全育成事業でそれぞれ実施している。

①施設利用

(実施期間)

通年で実施した。

(実施方法・回収率等)

施設利用団体責任者へアンケート調査を実施した。

回収率:100%(1,062通)有効回答数:502通(定期利用の団体は未回答が多いため)

(項目別回答集計)

▼性別:男性44% 女性55% 未回答1%

▼年代:高校生以下14% 大学生3% 20代10% 30代14% 40代27% 50代23% 60代以上8% 未回答1%

▼地域:前橋市内37% 市外28% 県外34% 未回答1%

▼利用頻度:初めて22% 週に数回0% 月に数回29% 年に数回39% ほとんど利用しない7% 未回答3%

▼職員の対応:満足76% まあ満足16% 普通7% やや不満0% 不満0% 未回答1%

▼料金設定:満足65% まあ満足15% 普通8% やや不満0% 不満7% 未回答5%

▼利用時間の設定:満足71% まあ満足20% 普通8% やや不満0% 不満0% 未回答1%

▼照明の明るさ:満足72% まあ満足17% 普通8% やや不満2% 不満0% 未回答1%

▼清潔度:満足64% まあ満足26% 普通8% やや不満0% 不満0% 未回答2%

▼使いやすさ:満足62% まあ満足27% 普通9% やや不満1% 不満0% 未回答1%

▼案内表示の分かりやすさ:満足68% まあ満足21% 普通9% やや不満1% 不満0% 未回答1%

▼安全性:満足65% まあ満足26% 普通8% やや不満0% 不満0% 未回答1%

▼総合的な印象:満足72% まあ満足22% 普通4% やや不満1% 不満0% わからない0% 未回答1%

(利用者からの意見等)

- ・会館で宿泊ができることを初めて知った。また合宿で利用したい。
- ・レストランの机・イス(県産材)がきれい。また、職員の接客が親切で料理がおいしい。
- ・会館1階ロビーの机・イス(県産材)が明るい印象で良い。
- ・会議室の机がきれい。
- ・利用予約が電話で簡単にできる点が良い。
- ・駐車場や備品を無料で利用できる点が良い。
- ・小さい子どもがいるので、キッズコーナー(畳)で遊べることで良かった。

(調査結果分析)

総合的な印象の項目が「満足」、「まあ満足」の合計で94%となっており、利用者から概ね満足の高い評価を得ている。

(調査結果への対応状況)

利用者からのアンケートを受けて改善した内容については、受付前の投書箱上部、会館ホームページに掲示した。

主な対応は以下のとおり。

(要望)窓を開けると虫が入ってくるので、網戸を付けてほしい。

(対応)県へ要望していたものが採択され、令和元年9月に会議室・宿泊室の網戸工事を県教育委員会が実施した。

(要望)新館シャワースペースの場所が分かりづらいので対策してほしい。

(対応)フロアマップを作成して設置した。

(要望)本館女子トイレを和式から洋式にしてほしい。(現状は本館女子トイレの半分为和式の状態)

(対応)以前から県所管課に工事の要望をしているが、今後も継続していく。

(その他苦情・要望等及びその対応状況)

(要望)新館宿泊室の空調(冷房)が効かない。

(対応)GHPが故障していたため、職員による緊急対策で窓用エアコンを取り付けた。また、県生涯学習課に速やかに報告し、令和2年3月に県管財課(現:財活課)が新館GHP更新工事を実施し改善された。

(要望)新館2階渡り廊下で雨漏りしている。

(対応)県生涯学習課に速やかに報告し、令和元年9月に県管財課(現:財活課)が防水シート工事を実施し改善された。

②青少年健全育成事業

(実施期間)

事業実施毎に行った。

(実施方法・回収率等)

事業参加者全員に、アンケート調査を実施した。

回収率:100%

(項目別回答集計)

各事業毎に、内容・満足度・実施時期等についての設問をして集計し、結果分析を行っている。

(利用者からの意見等)

全ての事業で、概ね好評であった。

各種事業の導入部分で、交流活動や意見交換の場を設定したことについて、評価の高い感想を多く得ることができた。

(調査結果分析)

アンケートの実施結果を基に、事業実施の内容について精査し、分析を行っている。

市町村青少年教育担当者研修会では、広報誌のデザインや編集についての研修希望が多くあった。

(調査結果への対応状況)

課題解決に向けて改善案を検討し、改善に努めている。

市町村青少年教育担当者研修会は、要望の多かった広報誌(チラシ)のデザイン及び編集内容に絞ったプログラムでの研修を実施した。

昨年度、応募定員に満たなかった「青少年指導者専門講座」では、今年度の開催に向けて各種団体に対して希望するプログラム内容の聞き取り調査を行い開催内容を検討した結果、募集定員を上回る参加者があった。

(その他苦情・要望等及びその対応状況)

なし

7 管理運営状況の評価 (A:優良、B:良好、C:要努力、D:要改善)

評価項目	総合	評価の考え方	評価できる事項及び
総合評価	A	事業計画に基づき青少年健全育成事業に取り組み、利用者の満足度も高く、良好な管理運営状況である。	<p><評価できる事項></p> <p>青少年健全育成事業のほとんどで定員を上回る応募や参加があった。</p> <p><改善すべき課題></p> <p>平日の利用者増に向けて、継続的に広報活動に取り組んでいく必要がある。</p>

(個別項目ごとの評価)

評価項目	評価
平等利用の確保	A
サービスの提供内容	A
管理費用の執行状況	B
管理運営体制	A
法令遵守等	A
労働条件評価の実施	

評価項目	評価
利用者対応	A
地域貢献	A
環境問題への取組	A
防災対策及び緊急時の対応	A
個人情報保護及び情報公開	A

(参考) 指定管理者の自己評価及び評価委員会の年度評価結果

	総合	評価の考え方
指定管理者の自己評価	A	<ul style="list-style-type: none"> 事業計画、仕様書に基づき適正な管理運営に努めた。 県で指定されている目標(施設の年間利用者数45,000人)を達成できなかったのは、新型コロナウイルス流行の影響で3月の利用者数が激減した影響が大きい。
評価委員会の年度評価	B	<ul style="list-style-type: none"> 台風や新型コロナウイルス流行の影響もあり、県で指定している目標を下回ったが、施設の設置目的及び指定管理業務の目的達成に向けて努力をしている。 アンケートをより詳細に分析し、具体的に改善することが望まれる。